

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：つくし保育園戸塚	種別：認可保育所
代表者氏名：黒澤 美貴子	定員（利用人数）：90名
所在地：〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町4014-1 マリンビル3～5F	
TEL：045-443-8088	ホームページ： http://tsukushihoikuen.org/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2017年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人秀峰会	
職員数	常勤職員：17名 非常勤職員：5名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 20名 看護師 1名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等）
	乳児室 2室 調理室
	調乳室 1室
	保育室 4室
	事務室 1室

③理念・基本方針

<保育理念>

- 自分で生きてゆく力を養う（自律）
- 人と協調して生きる力を養う（社会性）
- 美しさを感じる感性を育む（センスオブワンダー）

<保育方針>

- 受容された安全な環境の中で、主体的な活動を楽しみます。
- 人に対する愛情や信頼感をもとに思いやりの心を育みます。
- 子ども同士の遊びを通して生きる力を育みます。
- 自然や文化に触れながら、豊かな感性を養い子どもの夢を育てます。
- 保護者の方と話し合いながら共に考え、共に成長を見つめていきます。

④施設・事業所の特徴的な取組

●つくし保育園戸塚はＪＲ東海道線・横須賀線の戸塚駅から徒歩3分程度のところにあります。つくし保育園戸塚が位置する戸塚区は、桜、水辺に加えて緑も豊富であり、駅西口の駅ともつながる第1交通広場との空中廊下に立つと、濃い緑の丘陵が目に入ります。戸塚区は市街化区域が36％であり、その他は自然の残されたエリアであり緑の多い地域です。

●つくし保育園戸塚の経営母体は社会福祉法人秀峰会（以下、法人という）であり、介護・医療・保育等の福祉サービスを包括的、統合的に事業活動を行い、地域社会の一員の思いを持ち、「その人がその人らしく生きること」、地域の人々とともに地域の人々のために、の願いを、福祉を通して社会に貢献しています。「つくし保育園」は神奈川県に4園あり、統一したテーマとして、「つくしのように強く、たくましく」を掲げ、子どもに対して、様々な体験を仲間と一緒に楽しみながら生きる力の基礎を育み、職員は子どもたちの持つ成長する力、生きる力を信じ、十分な愛情で見守る保育を実践しています。

●つくし保育園戸塚は平成29年に開園し現在、定員90名、在席児童88名の園児を預かっています。園舎はビルの3～5階部分及び屋上（園庭）を占有し、それぞれの階でのクラスに集中して保育が行われ、エレベーター、階段を活用して異年齢で行き来をしながら交流を行っています。つくし保育園戸塚では、子どもたちにつくしの芽の時代から、3つの保育理念に沿った豊かな園生活を送ってほしいと願い、保育に努めています。全体的な計画では、新保育所保育指針に準拠して、養護（保育士が行う事項）、教育（園児が環境に関わって経験する事項）の一体的な展開を図りつつ、これまでの保育に「教育・保育において育みたい資質・能力の3本の柱」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10項目」を意識して組み込み、保育の展開に努めています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年 8月 22日（契約日） ～ 2020年 4月 27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 【法人の『羅針盤』に基づいた理念等の徹底】

●法人において、活動テーマ、法人理念、倫理、職員心得等を「羅針盤」として全職員に配付し、職員は常に携帯し、組織の一員として法人の全職員が理念を基に仕事に当たり、同じハートで利用者に接しています。人に対する愛情や信頼感を基に、職員一人ひとりが相手の立場に立ち、思いやりの心で接するよう法人の方針を徹底し、業務に当たっています。

2. 【『つくしクラブ』の展開】

●つくし保育園戸塚では、「つくしクラブ」を法人系列他園と共に展開しています。「つくしクラブ」では子どもが自発的に学び、創造的に考える力を育む新しい体験型プログラムを実施しています。0歳～5歳までのプログラムを用意し、つくし保育園戸塚では5歳児で展開しています。具体的には、理科の実験のように不思議から発見

につなげ、考える過程を培います。例えば、水に卵を入れて塩を加えると浮く様子を「何でだろう」の疑問を叶えるプログラムです。その対象は自然、人間、地球等へ広がっていき、子どもが「何でだろう」と思い、考えることが子ども自身の大きな発展・展開となり、世界が大きく広がるきっかけとなります。この取り組みは、保育理念の「センスオブワンダー」の具現化です。

3. 【食育について】

●つくし保育園戸塚では、食育活動において畑活動を行い、種・苗を植え、栽培し、収穫をする過程を畑を借りて都会にしながら土いじりをする食育活動を行っています。種を蒔き、水をやり、収穫をして園に持って帰り、給食の調理員に渡すことも誇らしい貴重な食育体験です。そして給食で食べる一連の作業を通して自ら食べようとする意欲につながっています。また、畑の活動の他に「選食力」、「食のマナー」、「地球の食を考える」等を柱に日々の食事・食育活動に取り組んでいます。給食は委託会社ですが和食を中心に提供する給食委託会社を採用し、食に拘り、献立の要望も提出しながら子どもたちへ食育に通じたより良い食を提供するようにしています。

◇改善を求められる点

1. 【さらなる職員の質の向上について】

●現在は福祉人材が不足している時代であり、介護に従事する人材も然りですが、保育士の人材不足は慢性的でもあります。保育士不足を補うよう補助金が支給され、少子化対策の一環として育児手当制度の新設等により、働く母親も増えさらに待機児童が増す負のスパイラルなる状況も否めません。そのような情勢の中で職員一人ひとりの質の向上を図っていく余裕は至難の業ですが、現有戦力を最大限に活用するには、一人ひとりの良いところを伸ばし、能力を引き上げて行くことに尽きます。OJTを含む研修の強化、チームプレイによる相乗効果、良好なコミュニケーション、信頼関係等、いろいろな工夫が必要です。既定の保育に捉われない発想の転換も含め、園全体の総合力のアップが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 社会福祉法人秀峰会 つくし保育園戸塚
施設長名 黒澤 美貴子

《第三者評価を受審した感想》

客観視する機会となり、認識していた課題と、そうでなかった課題が明確化されました。

評価内容を全職員で共有、認識することで意識化、行動化していきたいと考えます。

《評価後取り組んだ事として》

1. 園内研修の内容を1つから3つへ広げた。（職員の資質向上に期待）

2. 子どもの記録のまとめ方を変更。クラス単位から全てを個別にし、在籍期間中を一括で管理できるようにした。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり